

「光の道」構想に関する意見

意見提出元	個人
意見項目	意見内容
1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。	そもそも光化したところで今の段階においてキラーアプリケーションがなく、メリットを感じていない。早急に光化することにより我々ユーザが使いたくなるようなアプリケーションを考えながらあくまでも我々ユーザの意向に沿って進めてほしい。
2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適切と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。	我々の居住エリアにおいては電力系会社による光化も進んでおり、料金競争による料金の低廉化も進んでいると思っている。エリアを広げることに躍起になるよりも、我々ユーザが使いたくなるようなサービスを開発し、利用率を向上させるために官民を上げて取り組んでほしい。